

# MASTER

AICHI MEDICAL UNIVERSITY Graduate School of Nursing 2022



愛知医科大学大学院  
看護学研究科

修士課程

# 愛知医科大学大学院 看護学研究科(修士課程)について

愛知医科大学大学院看護学研究科は、高度専門職業人にふさわしい看護実践者として、これからの看護研究・教育・管理に貢献できる人材を育成するために、2004年4月に開設しました。

その後、2007年度に感染看護学領域において高度実践看護師(専門看護師[CNS])コースを開設し、2015年10月には高度実践看護師(診療看護師[NP])コースにおいて、特定行為研修制度の研修機関として厚生労働省から指定(38行為21区分)を受けるなど着実に発展を遂げ、更なる看護学の発展に寄与する人材の育成を行っています。

## Message from the Dean

### 研究科長あいさつ



研究科長

**坂本 真理子**

Sakamoto Mariko

愛知医科大学大学院看護学研究科は、2004年の開設から17年が経過しました。これまで送り出した144名の修了生たちは、本研究科で培った知識や技術をもって全国各地の保健医療機関や教育機関などで活躍しています。

近年の大きく変化する社会情勢のもと、保健・医療・福祉のしくみも変わろうとしています。こうした変化の中で、自ずと看護職の役割や地域社会での活動場所も拡大し、多様化してきています。多くの看護職が今まさに、今日的な課題を実感しながら、悩み、実践に取り組んでおられると思います。

看護教育の高等化が急速に進み、実践家である看護職が大学院で学べる機会が増えました。本研究科では、実践家である皆さんが日常の看護実践で気になっている現象を紐解くことから始めます。自らの体験を語り、自分自身の考えを整理し、議論しあうプロセスを通じて、自分の研究テーマを精錬させ、新しい知を創造し、発信できるように研究を進めていきます。このプロセスは、経験知であった看護を可視化し、共有の財産である理論知としていくプロセスでもあります。

本研究科では夜間開講や長期履修制度等、社会人が学びやすい教育環境を整えています。自らの可能性に挑戦し、共によりよい社会の創造に向けた看護学の追求に共に取り組んでみませんか。皆様のご入学を心からお待ちしております。

## □ 教育理念

看護現象に根ざした人間存在の原理的・統合的・全人的理解を基盤として、学際的・国際的な視点を加味した看護学を教授し、卓越した看護実践能力及び研究・教育・管理能力を持つ高度実践看護師を育成するとともに、研究・教育を通して看護学の発展に寄与する。

## □ 教育目標

- 1 高度な知識・技術と卓越した実践能力を持つ高度専門職業人を育成する。
- 2 看護の質向上に寄与する研究・教育・管理能力を持つ高度専門職業人を育成する。
- 3 国際的視野を持って、看護・看護学を探究しつづける人材を育成する。
- 4 看護学の学問的発展に寄与できる研究者・教育者を育成する。



## □ 学 位

看護現象に根ざした人間存在の原理的・統合的・全人的理解を基盤として、学際的・国際的な視点に基づく卓越した看護実践能力及び研究・教育・管理能力を身に付け、高度専門職者として優れた能力ないし教育・研究活動に貢献できる能力を修得した者に、修士(看護学)の学位を授与する。

## □ 募集人員

15名

# 担当教員研究内容一覧

## □ 教育研究分野・専攻領域及びコース

教育研究分野	専攻領域	コース
基礎看護学	看護管理学	修士論文
母子看護学	母性看護学	
成人・老年看護学	慢性看護学	
精神・在宅・地域看護学	精神看護学	
	在宅看護学	
	地域看護学	
高度実践看護学	感染看護学	修士論文
		高度実践看護師(専門看護師[CNS])
	臨床実践看護学	修士論文
		高度実践看護師(診療看護師[NP])

## □ 担当教員研究内容一覧



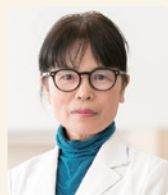
**看護管理学領域** 山中 真 教授

- 転倒外傷予防
- 看護師の実践技術の量的評価



**母性看護学領域** 山本 弘江 准教授

- 夫婦に対する産後うつ病の早期発見とスクリーニングに関する研究
- 子育て期の家族のメンタルヘルスに関する支援の検討
- 親の育児ストレスに関する研究



**慢性看護学領域** 高橋 佳子 教授

- 長期療養者のセルフマネジメント・スキル獲得への支援に関する研究
- セルフマネジメントに必要な行動変容に関する研究



**慢性看護学領域** 谷口 千枝 准教授

- 行動変容に関連する心理・社会的要因の分析
- 禁煙行動に関する疫学研究
- レセプトデータを用いた疾病と生活習慣との関連分析



**精神看護学領域** 心光 世津子 教授

- 精神科病棟看護における自己決定支援に関する学際的研究
- 精神障害からの回復・リカバリーに関する研究
- セルフヘルプ・グループやピアサポートに関する研究
- 精神看護学教育に関する研究



**在宅看護学領域** 佐々木 裕子 准教授

- 在宅ターミナルケアに関する研究
- 小児在宅ケアに関する研究
- 地域・在宅ケアで取り組む災害対策と要配慮者支援に関する研究
- 在宅看護教育に関する研究



**地域看護学領域** 坂本 真理子 教授

- コミュニティ・ヘルス・ワーカーの在日外国人支援における適応について
- 多文化に対応する子どもと親のための健康教育ハンドブックの開発
- 保健師の歴史に関する研究



**地域看護学領域** 若杉 里実 教授

- 地域看護活動に関する研究
- 保健師の人材育成に関する研究
- 地域看護学教育に関する研究
- 看護学生の慢性疼痛教育に関する研究



**感染看護学領域** 佐藤 ゆか 教授

- 感染防止教育に関する研究
- 感染管理、感染防止ケア、感染症患者の看護に関する研究
- 感染防止における地域連携に関する研究



**臨床実践看護学領域** 阿部 恵子 教授

- 学習者のパーソナリティと感情管理に関する研究
- 多職種連携教育に関する研究
- SP参加型/シミュレーション教育に関する研究



**臨床実践看護学領域** 泉 雅之 教授

- 神経疾患の内分泌学的検討, 認知症の臨床研究, 脳卒中の臨床研究



# 環境

## □ 昼夜開講制・長期履修制度

医療等の現場で活躍している看護師・保健師の方々が退職や休職することなく学べるよう、配慮しています。

また、2015年度入学生からは職業を有している等の事情により、標準修業年限での履修が困難な学生を対象として、修業年限を超えて計画的に履修し、修了することができる「長期履修制度」を導入し、社会人の学びやすさを支援する体制を取っています。



社会人比率

2021年度入学者	13名中13名(100%) [長期履修制度を利用する学生:2名]
2020年度入学者	12名中12名(100%) [長期履修制度を利用する学生:1名]
2019年度入学者	14名中14名(100%) [長期履修制度を利用する学生:7名]
2018年度入学者	15名中15名(100%) [長期履修制度を利用する学生:5名]

## □ 研究指導体制

本研究科における指導体制は、少人数で個別的な指導を行うことを旨としています。このため、初学者であっても確実に研究のプロセスを学習しつつ、論文を作成できる体制を取っています。



## □ 研究環境

### ● 院生用研究室

大学院生には、研究活動等で利用するための研究室を整備しています。24時間利用可能で、パソコン、机、保管庫・ロッカーを設置しています。



### ● 総合学術情報センター(図書館部門)

医学・看護学及び関連分野の学術情報を収集・管理し、教育・研究・診療を支援する専門図書館があります。図書約10万冊、視聴覚資料約1,500点、学術雑誌約4,000タイトルを所蔵しており、学内外を問わずどこからでも所蔵状況を確認することができます。利用にあたっては、医療情報の専門家である図書館員が検索のコツや利用上の相談にも気軽に応じます。平日は22時まで利用できることに加え、毎週土曜日及び一部日曜日も開館しており、利便性の向上に努めています。



### ● 総合学術情報センター(情報基盤部門)

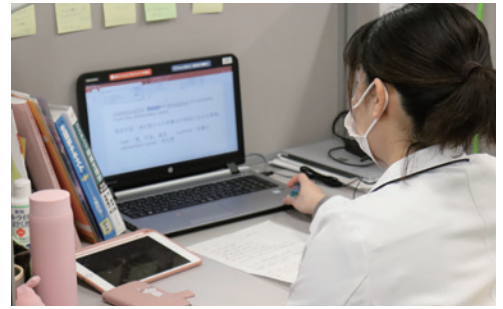
先進的な設備や最新のICT技術を導入し、学習支援環境の整備に積極的に力を注いでいます。課題解決(表分析、レポート作成等)などで、利用時間内であれば自由にパソコンが利用でき、操作支援やトラブルの対応には専門スタッフがサポートします。

環境



## □ オンラインを取り入れた講義の実施

感染対策又は、職業を有する学生への配慮としてオンライン講義を取り入れています。自宅・職場から講義に参加することができます。



## □ 特別講義

看護の展望や看護の探求心,知的好奇心を育成するとともに,看護職者としての意識の改革,看護に対する関心への動機付けを狙いとして,年に数回開講しています。



## □ 修了生へのサポート

本研究科では,修了生に対してのフォローアップ,キャリアサポートを目的とし『修了生連絡会』を設置しています。『修了生連絡会』では専用のメーリングリストを作成し,本研究科で開催するイベントの情報を発信したり,研究科担当教員及び修了生相互の情報交換の場として運用されています。

## □ 国内外の大学との交流

### ● 国際性

看護学部では,ケース・ウェスタン・リザーブ大学(米国),サンディエゴ大学(米国),オウル大学(フィンランド)及びマハサラカム大学(タイ王国)と協定締結を行っており,協定締結大学から教員を招聘し,講義・演習を行っています。

### ● 国内における交流

感染看護学領域では,他の看護系大学大学院との協力などによる講義・演習を行っています。

## □ 科目等履修生制度

科目等履修制度は,本研究科において開講している授業科目の「単位修得」を目的として入学する制度です。本研究科において履修した科目は試験等で総合的に判断し,単位を認定します。認定された単位は,15単位を限度として,入学後に単位を認定することができます。

## □ 職業実践力育成プログラム(BP)

「職業実践力育成プログラム」(BP)とは,大学・大学院・短期大学・高等専門学校におけるプログラムの受講を通じた社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として,大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを文部科学大臣が認定するものです。

本研究科高度実践看護師(診療看護師[NP])コースは平成30年度に,高度実践看護師(専門看護師[CNS])コースは令和元年度に認定されました。



## □ 教育訓練給付金(専門実践教育訓練給付金)

高度実践看護師(専門看護師[CNS])コース及び高度実践看護師(診療看護師[NP])コースは,厚生労働大臣より,教育訓練給付金の専門実践教育訓練として指定を受けています。一定の条件を満たせば,2年間で最大112万円の給付が受けられます。

※専門実践教育訓練給付金の制度等の詳細につきましては,ハローワークや厚生労働省のWebページも併せて必ずご確認ください。

# 修了生からのメッセージ

Senior Message

## 医学と看護の特徴を活かし、柔軟な診療を実践していきたい

東京曳舟病院 診療看護師  
臨床実践看護学領域  
高度実践看護師(診療看護師[NP])コース

西尾 光貴さん 2021年3月修了



ベッドサイドに近い存在である看護師が、医学的側面を持ち診療することが可能であれば、より深みのある医療が提供できると思います。診療看護師[NP]コースに進学しました。

大学院では、生理学、薬理学など医学部と同じ講義を受講できることは魅力的です。また、医師からフィジカルアセスメント、臨床推論を直接学ぶことで、多角的な視点から患者を捉えることや、論理的思考力が深まり、実践に役立つ内容が多く有意義でした。

今後は、診療看護師(NP)の強みである医学と看護の特徴を活かし、状況に応じた柔軟な診療を実践できるよう努めていきたいです。

## 診療看護師(NP)としてともに成長していこう

愛知医科大学病院 診療看護師  
クリティカルケア看護学領域  
高度実践看護師(診療看護師[NP])コース

津下 和貴子さん 2018年3月修了



仕事をする中で様々な患者さん・家族、スタッフに巡り会いました。うまくいくこと、うまくいかないこと、様々な壁にぶつかりました。そんな中、今の自分よりも少し人の役に立てるような看護師になりたいと思い、進学を決めました。

現在、診療看護師(NP)として働きはじめ4年目になりました。愛知医科大学病院ではOJTを使用して診療看護師教育を行っています。毎年人数が増え、働き方も少しずつ変化しています。悩んだり、迷ったりすることも多いですが、仲間と一緒に解決し、充実した日々を過ごしています。新しい自分を目指して、大学院で学んでみませんか？

## 教員や仲間の支えで成長を確信

愛知医科大学看護学部 教員  
慢性看護学領域 修士論文コース

森本 直樹さん 2021年3月修了



私は、研究手法を身につけること、思考過程を深め、それを言語化する力を身につけたいという動機から大学院へ進学しました。

大学院では経歴や経験が様々な学生や、教員との話し合いを通して、物事を多面的、客観的に捉える思考の必要性を学びました。さらに、研究の方法だけでなく、看護についてあらためて学んだことは、自分の行動を振り返る良い機会となりました。

この先、看護という学問はさらに重要性が増していくと考えています。自分が物事を伝える時、相手の立場になって考える時、大学院での学びを活かしていきたいです。

## 働きながら大学院に通うことで、研究や実践がさらに活きる

名古屋大学大学院医学系研究科  
看護学コース 博士後期課程学生  
母性看護学領域 修士論文コース

土川 紗穂さん 2020年3月修了



助産師として働いていた時に、現場の慌ただしさに追われ、ささいな疑問や葛藤をそのままにしていたことに違和感を抱いたことがきっかけで、大学院進学を決めました。

愛知医科大学では、働きながら授業を受けることや、研究のサポートが非常に手厚く、働きながら大学院に通うことで、臨床での経験を研究に反映させやすく、大学院で学んだ理論等が臨床に役立ち、後輩の指導にも活かすことができました。

助産師を辞めて教員として働く中で、修士で学んだことをより深めたいと思い、博士後期課程に進学しました。今後は、大学教育に携わりながら、研究者として貢献していきたいです。

## 「看護とは何か」を解決するため

愛知医科大学病院 看護師  
看護管理学領域 修士論文コース

谷口 純平さん 2017年3月修了



私が大学院への進学を決めた動機は、「看護とは何か」という疑問を解決するためでした。

大学院では看護管理学を専攻し、自身の研究についてはもちろんのこと、看護の質の向上やリスクマネジメントなど管理に関する内容を多角的な視点で学習することが出来ました。

これらの学びは、現在働いている臨床の中で、安全な患者管理や看護師の育成などに役立っていると感じています。ですが、「看護とは」という答えは見つかっていないので、大学院での経験を活かして自分自身の「看護とは」を見つけることが今後の課題です。

## 実践してきた看護を理論づけて考える

国立病院機構東名古屋病院  
感染症専門看護師(CNS)  
高度実践看護師(専門看護師[CNS])コース

加藤 千景さん 2020年3月修了



私は自身が実践してきた感染対策や感染症看護が適切であったのか疑問に思うことがあり、大学院で学びを深めたいと思い進学を決意しました。

大学院では看護を学び直す機会となり、今まで経験してきたことや実践してきた看護を理論づけて考えることができるようになったと思っています。

大学院修了後は臨床現場に戻りましたが、大学院で学んだことを活かして広い視野で看護が実践できるように日々努力していきたいと思っています。



# 修士論文コース

## 各分野の第一人者を講師として招き、幅広く専門的な看護学を教授

修士論文コースは、8つの多彩な専攻領域を設置し、看護実践者の研究能力の向上と看護教育・管理に貢献できる看護職者の質的向上をめざした教育を行っています。働きながら学修を続けることができるよう、平日の夜間や土曜日などに開講しています。

## カリキュラム

授業科目	配当年次	単位数		修得すべき単位数
		必修	選択	
現象学的看護学	1		2	当該指導教員と相談して選択(計14単位以上) 必修以外から
看護理論	1	2		
看護倫理	1	2		
看護教育論	1		2	
看護管理論	1		2	
看護研究方法論Ⅰ	1	2		
看護研究方法論Ⅱ	1		2	
コンサルテーション論	1		2	
看護政策論	2		2	
環境保健学	1		2	
国際看護学	2		2	
英語文献購読	1	2		
看護教育実践論	1		2	

授業科目	配当年次	単位数		修得すべき単位数
		必修	選択	
看護管理学特論Ⅰ	1		2	(1) 専攻領域の講義科目 4単位 (2) 専攻領域の演習科目 4単位 (3) 特別研究 8単位 (計16単位以上)
看護管理学特論Ⅱ	2		2	
看護管理学演習	1		4	
母性看護学特論Ⅰ	1		2	
母性看護学特論Ⅱ	2		2	
母性看護学演習	1		4	
慢性看護学特論Ⅰ	1		2	
慢性看護学特論Ⅱ	1		2	
慢性看護学演習	1		4	
精神看護学特論Ⅰ	1		2	
精神看護学特論Ⅱ	2		2	
精神看護学演習	1		4	
在宅看護学特論Ⅰ	1		2	
在宅看護学特論Ⅱ	2		2	
在宅看護学演習	1		4	
地域看護学特論Ⅰ	1		2	
地域看護学特論Ⅱ	2		2	
地域看護学演習	1		4	
感染看護学特論Ⅰ	1		2	
感染看護学特論Ⅱ	1		2	
感染看護学演習Ⅰ	1		4	
特別研究(修士論文)	2		8	

## 研究で得た学びを臨床で発揮できることを目指したい



### 在宅看護学領域修士論文コース

訪問看護師として加齢や慢性疾患を抱えながら在宅で過ごす利用者様と接する中でさまざまな看護の視点があると感じながらも、それを具体的に文章や言語化することの難しさを実感していました。また臨床実習指導者として学生と関わる中で、学生のフレッシュな考えにエビデンスをもって応えたいという気持ちも強くなり、大学院への進学を決意しました。

### 水野 竜斗さん

第2学年



大学院では多くの文献に触れ、看護モデルを深く理解する事の重要性に改めて気づかされています。研究では、『新人看護師』『病院と在宅の連携』について焦点を当てて取り組めたらと考えています。

臨床での疑問を研究で明らかにし、研究で得た学びを臨床で発揮できることを目指していきたいです。

# 高度実践看護師（専門看護師[CNS]）コース

## 感染看護学分野の高度実践看護師を育成

感染看護学領域は、専門看護師教育機関として認定を受けており、修了者は公益社団法人日本看護協会が実施する専門看護師認定審査(感染症看護)の受験資格が得られます。

## 教育方針

高度実践看護師(専門看護師[CNS])コースは、対象のクオリティ・オブ・ライフの向上を目的として、キュアとケアの融合による高度な看護学の知識・技術を駆使し、個人・家族・集団・地域に対して、卓越した感染予防ケアと感染管理を実践する高度実践看護師の育成を目指します。

課題研究では、医療関連施設における感染症患者及び易感染患者のケア、感染症に伴う倫理的問題への介入、施設及び地域における感染管理活動、災害時の感染防止、感染症集団発生時の疫学調査と感染拡大防止対策などについて探求し、感染看護学の発展と看護の質向上に寄与しうる研究論文の作成を目指します。



## カリキュラム

	授業科目	単位数	修得すべき単位数
共通科目名	看護理論	2	8単位以上
	看護倫理	2	
	看護教育論	2	
	看護管理論	2	
	看護研究方法論I	2	
	コンサルテーション論	2	
	看護政策論	2	
	フィジカルアセスメント	2	6単位
	臨床薬理	2	
	病態生理学	2	

	授業科目	単位数	修得すべき単位数
専門科目名	感染看護学特論I	2	18単位
	感染看護学特論II	2	
	感染看護学特論III	2	
	感染看護学特論IV	2	
	感染看護学特論V	2	
	感染看護学演習I	4	10単位
	感染看護学演習II	4	
	感染看護学実習I	3	
	感染看護学実習II	4	4単位
	感染看護学実習III	3	
	課題研究	4	4単位

合計：46単位以上

## 専門看護師6つの役割

(実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究)を果たすために

感染看護学領域 高度実践看護師(専門看護師[CNS])コース

私は病院でリンクナースをしていた時に、リンクナースの役割や病院の感染管理に興味を持ちました。さらに、数年前から科目等履修生として大学院で学習し、そこの志の高い大学院生との出会いや先生方の熱心な指導を受け、さらに学びを深めたいと思い大学院に進学しました。

大学院では専門看護師の6つの役割に必要な多くの科

木下 光香さん

第2学年

目を学習し、実習では学習した事を現場でどのように活用するかを学んでいます。授業や実習、研究を進める中で、考え方を柔軟にし、新しい知識を吸収し、表現する事の難しさを感じています。しかし、先生方の指導を受け、同じ目標を持つ仲間と共に日々成長したいと思います。

今後は大学院での経験を臨床の現場に戻り活用できるようにしていきたいです。



Senior Message



# 高度実践看護師（診療看護師[NP]）コース

## 診療看護師（NP）とは

病気を診断し治療を行うナース・プラクティショナーという看護師が海外では活躍しています。この役割の一部を担う看護師が診療看護師（NP）です。診療看護師（NP）とは、「患者のQOL向上のために医師や多職種と連携・協働し、倫理的かつ科学的根拠に基づき一定レベルの診療を行うことができる看護師」です。愛知医科大学大学院看護学研究科では、日本NP教育大学院協議会の教育カリキュラムに基づき、診療看護師（NP）の養成を行っています。

## 診療看護師（NP）の特徴とは

診療看護師（NP）は、看護学を基盤として、診療とケアを統合した高度実践看護を実践することができる看護師です。特徴的な違いとして、これまでの看護学の知識・技術に加えて、医学的な視点を学ぶことによって、病気の診断技術と治療管理技術を修得します。加えて、厚生労働省「看護師の特定行為に係る研修制度」を通じて、38行為21区分の特定行為研修を行っています。



## 看護師の心と眼でチーム医療を実践していきたい

### Senior Message

臨床実践看護学領域 高度実践看護師(診療看護師[NP])コース

藤澤 恵児さん

第1学年

私がナース・プラクティショナーと初めて出会ったのは、看護学生時代に大学の短期留学でアメリカへ行ったときのことでした。留学先の病院見学では、看護師一人ひとりが自身の専門分野を生かし、一つのチームとして協力し合う姿が今も目に焼きついています。

私が、臨床で働いていく中においても看護師の専門性がより求められるようになってきていると感じています。

診療看護師（NP）として与えられる役割は大きくなると思いますが、私たちは看護師でありますので、いつも看護師の心と眼で医療チームと協力し合い、患者さんやご家族に良い看護を提供できるようになりたいと思っています。



## 医師の治療・知識を学ぶことで、より深く「ひと」に寄り添うことができる

臨床実践看護学領域 高度実践看護師(診療看護師[NP])コース

野澤 多恵さん

第2学年

私は看護師として10年間、急性期病棟や診療所での勤務のち大学院に入学しました。

看護とは「ひとのいのちを輝かせること」だと考えています。「いのち」とは生命活動に必要な臓器が動いているということだけではなく、物語としての人生がよりその人らしく輝くことだと思います。診断のプロセスや治療管理技術、医師との共通言語を学ぶことで、より深く「ひと」に寄り添うことができるのではと考え入学を決意しました。

入学し、講義を受ける中で、臨床で目にした数々の疾患に対し、その病態を生体のメカニズムと組み合わせることでより理解が深まっていくことを感じています。知識や技術を身につけて、その学びを臨床に応用できるように頑張りたいと思います。

修了後は医療や看護と「ひと」をつなぐ役割を担えればと思っています。



# 高度実践看護師（診療看護師[NP]）コース

## □ 本学の特徴

### ● 2コース同時開講

本学では、クリティカルケアコースとプライマリケアコースの2コースを開講しており、日本NP教育大学院協議会主催・NP資格認定試験、クリティカル又はプライマリケア（成人・老年）領域の受験資格を得ることができます。

### ● 教育利点

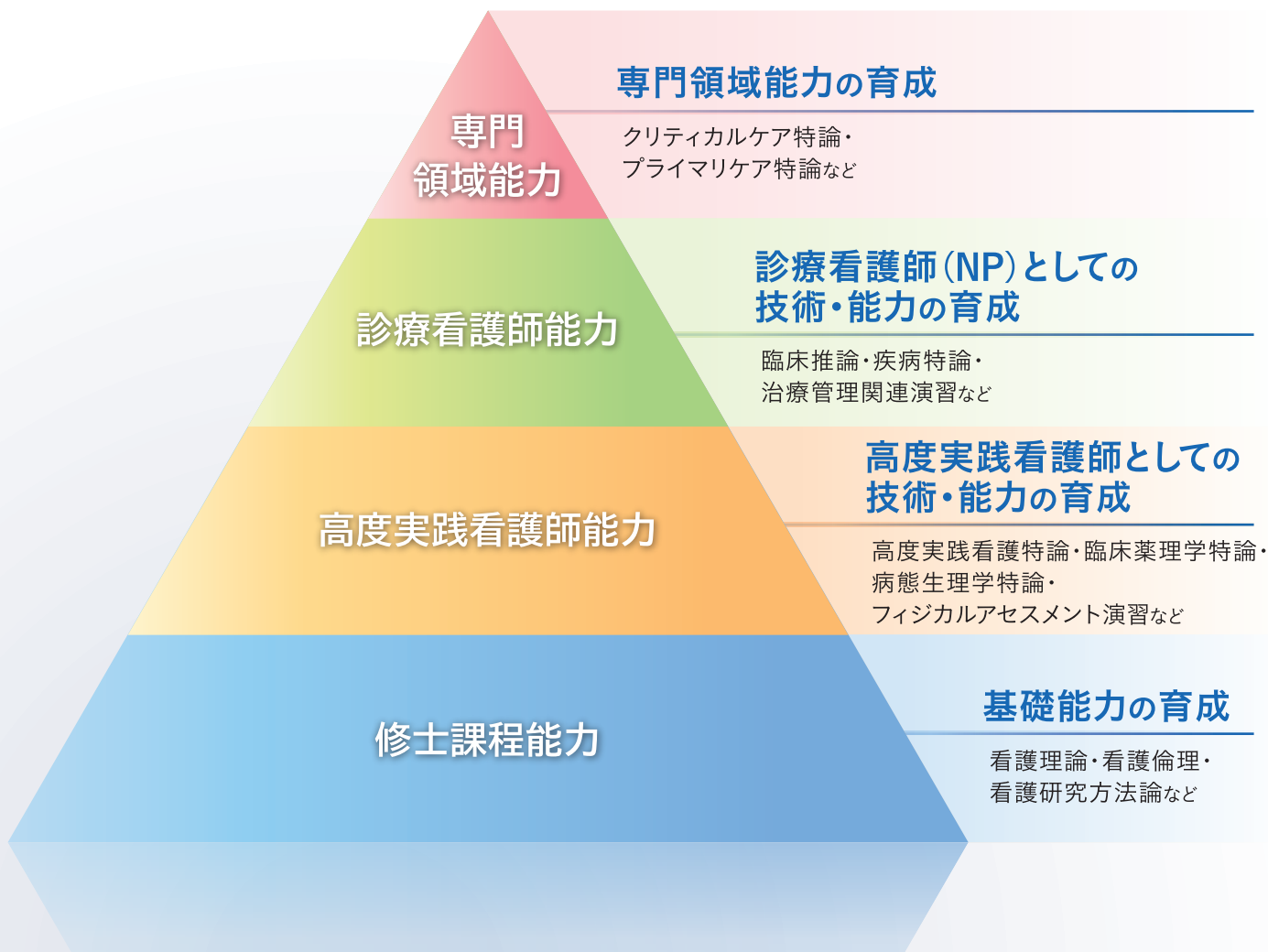
医学部が併設しているメリットを生かし、薬理学、生理学などの基礎医学に関する科目は、医学部と同様の教育を受けることができます。また、臨床経験豊富な医師や先輩診療看護師（NP）の講義によって、臨床実践能力の向上を目指すことができます。加えて、診療看護師（NP）資格をもつ看護教員が在籍しており、看護の視点を持って学ぶことができます。

### ● 合格率 100%

本コースは、平成22年度に日本NP教育大学院協議会の診療看護師（NP）養成教育課程の認定を受け、現時点までの修了生の認定試験合格率は100%です。

## □ カリキュラムの特徴

諸外国の高度実践看護師養成教育モデルを参考に、段階的に、系統化された教育を積むことで看護学修士としての看護の視点を伸ばしつつ、診療看護師（NP）として必要な知識・技術を修得することが可能です。加えて、クリティカルケアコースとプライマリケアコースの両コース開設によって、より専門性を深めた教育を自身のキャリアプランに沿って学ぶことが出来ます。





## □ 充実した学習・実習環境

診療看護師〔NP〕コースでは、専用の演習室を備えています。臨床推論ソフト、気管挿管、動脈穿刺、縫合シミュレーターや超音波診断装置も常備されています。シミュレーションセンターでは、高機能シミュレーターを用いて、シミュレーションを行っています。

学修は、ICTを活用した学修支援システムにより、自宅でも文献検索やレポートの提出ができ、社会人が学修しやすい支援を行っています。大学院生には、子育てをしながら進学する方も多くなっています。

実習は、愛知医科大学病院だけでなく、地域の中核病院、在宅診療専門クリニック、山間部や離島などのへき地の診療所などでも実習を行い、高度先進医療から地域医療まで幅広い対応が可能な診療看護師（NP）の育成を目的としています。



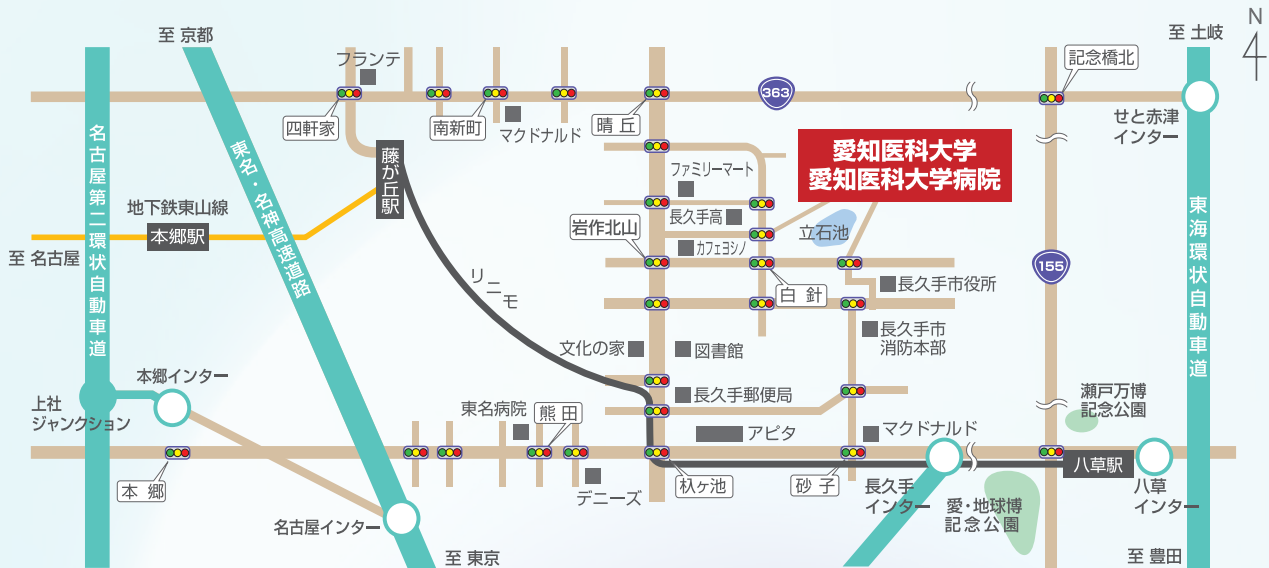
## □ カリキュラム

授業科目		単位数	修得すべき単位数
共通科目	看護理論	2	計14単位以上
	看護倫理	2	
	看護研究方法論I	2	
	英語文献講読	2	
	チーム医療・看護管理特論	2	
	保健医療福祉システム特論	2	
	看護教育論,看護管理論,コンサルテーション論,看護政策論(選択)	2	
専門科目	高度実践看護特論	1	計54単位
	臨床薬理学特論	3	
	病態生理学特論	5	
	疾病特論	4	
	臨床推論	3	
	フィジカルアセスメント演習	2	
	呼吸器・循環器治療のための実践演習	5	
	ドレーン管理のための実践演習	2	
	疾病と治療 カテーテル管理と創傷管理	3	
	疾病と治療 薬物治療I	2	
	疾病と治療 薬物治療II	3	
	人体構造演習	1	
	NP実習	20	
選択科目	クリティカルケア特論	2	計2単位以上
	プライマリケア特論	2	
課題研究	課題研究	4	計4単位

※診療看護師〔NP〕コースの専門科目における講義および実習は、昼間に実施されます。

合計：74単位

# ACCESS GUIDE



## ■幹線道路から

- ①東名・名神高速道路・名古屋インターから車で約15分、長久手インターから車で約10分
- ②名古屋第二環状自動車道・本郷インターから車で約15分
- ③東海環状自動車道・せと赤津インターから車で約30分

## ■公共交通機関

名古屋駅から地下鉄東山線で「藤が丘」駅まで25分、地下鉄東山線「藤が丘」駅から名鉄バスで約15分

\*詳細はホームページをご確認ください。

【お問い合わせ先】

## 愛知医科大学看護学部教学課大学院係

〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1

TEL: 0561-62-3311(代表) 〈直通〉TEL: 0561-61-1827 FAX: 0561-63-1093

E-mail: [gakumu@aichi-med-u.ac.jp](mailto:gakumu@aichi-med-u.ac.jp)

URL: <https://www.aichi-med-u.ac.jp/>

